

子育て調査隊 Vol.10 特別版 座談会

10回目は 栗原に暮らすママたちの想い について聞きました！

1 ままばれに出てみて、周りから何か反応はありましたか？

相馬さん: はい、すごかったです(笑)。保育所、幼稚園、小学校それぞれの先生にお会いするたびに「見たよ!」って言われました。最近はおぼろり冷めたかなと思っていたんですが、親戚と集まる機会があったときに、主人のいところから言われてびっくりしました。

川名さん: 私もドラッグストアに行ったら店員さんから「ままばれ見たよ」って言われました(笑)。ママ友の間でも広まっていたみたいですね。

鈴木さん: 私も長男が幼稚園のときにお世話になっていた先生から「大きくなったね」って連絡がきました。それがすごく嬉しかったです。

2 栗原市の子育て支援制度で、特に役に立ったものは何ですか？

相馬さん: 「予防接種の助成」ですね。インフルエンザの流行は毎年のことで、うちは子どもが3人

なので予防接種が無料になるのはかなり助かります。今年は宮城県内でも警報が出ていましたが、栗原市は他と比べてそこまで患者数が多い印象でした。やはり、無料だから、みんながちゃんと予防接種を受けているのかなと思っていましたね。

川名さん: 助成を受けられる予防接種の対象も広がって、今はロタウイルスワクチンも無料なんですよ。

鈴木さん: 「18歳まで医療費助成」がありがたいです。お金の事を気にせずに、すぐ病院にかかれるから早期受診にもつながり、症状がひどくなる前に対処できていますね。それに歯医者も対象になるので、むし歯になりやすい時期はこまめに受診に行きますが、それも無料になるので助かっています。



狩野さん: 「保育所・幼稚園の二人目以降無料」も大きいですね。何万円単位のお金が浮くので、それを貯金しておけば習い事や何かのときに使えます。私は子どもを産んでからこの制度があることを知ったのですが、子

育てのプランも立てやすくなるので、すごく推していいと思います。他の地域に行った友達も多いですが、制度のことを話すと驚かれますよ。

千葉さん: そうですよ。うちは保育所に3人通っていた時期があり、1人目のときはいろいろとお金がかかりましたが、下の2人のときはほとんどかからなかったですね。

笠原さん: あと、去年から新しく始まった制度で、「スマイル子育てサポート券」という育児用品の購入に使える券が毎月3,000円分支給されるようになりましたよね。うちの子は2人ともまだおむつが必要なので嬉しいですね。



子育て真っ最中のママ同士会話も弾みました♡

2017年7月号から連載している子育て調査隊も、今月号でついに10回目を迎えました！
今回は特別企画として、これまで誌面に登場したママたちに集まっていたいただき、栗原での子育てや暮らしについてお話を伺うべく、座談会を開催しました。

3 栗原市の楽しいところや良いところを教えてください

川名さん: 近所にある六日町通り商店街では、夏に「くりこま夜市」が開催されます。子どもスタンプラリーとか、現金つかみ取りとか、そういった家族で楽しめるイベントが結構ありますよ。

千葉さん: うちの家族全員お祭りが好きなので、一年のメインイベントは夏に栗駒で行われる「くりこま山車まつり」です。山車製作が6月くらいからスタートして、お祭り当日は山車やお神輿の巡行があるので、そこでお神輿を担ぐのが楽しみです。

笠原さん: 最近お店も増えてきて、雰囲気も変わりましたよね。

川名さん: そうそう。カフェがあったり、お惣菜屋さんがあったり、あとお洒落なアウトドアのお店もあります。

鈴木さん: 仙台市からも結構お客さんが来てみたいで、賑わってきているよね。

狩野さん: 栗原市って田舎のイメージがありますが、仙台市にも近いですし、新幹線も通っているので気分転換でちょっと遠出したいときに隣県にも行きやすいですね。地理的にすごくいい場所だなって思います。

千葉さん: 子育てをするうえで、のびのびと育てられる環境ですね。都会だと音を気にしないといけなから大変になって。

笠原さん: ニュースとかで、保育所をつくるときに近所から苦情がくるって聞きますよね。

相馬さん: うちの実家は大阪で、住宅が密集したところにあるので子どもの頃はよく近所のお母さんの怒っている声が聞こえてきました。当時は怖いな〜って思ってたんですが、今思うとあのお母さんもきっと子育て大変だったんだろうなって…。一同：(笑)



4 反対に、もっと改善してほしいところはありますか？

千葉さん: 屋内で遊べる施設があるといいですね。雨の日に出かけると毎回子どもたちが泥こになって…(笑)。かといって家に閉じ込めておくのもそれはそれで大変です。

鈴木さん: 特に冬場は雪が多いから、なかなか外で遊ばせられないこともあるよね。

狩野さん: うちの子は2歳と5歳なので、遊ぶときに興味を持つものが微妙に違うんです。それが今一番困っていて、だから幅広い年齢で一緒に遊べる場所があるといいですね。

笠原さん: 休日には屋内の遊び場に行くために、登米市や仙台市、山形、秋田にまで出かけることもあります。



鈴木さん: 私と主人の趣味がスポーツと温泉と音楽なので、例えばスポーツをしたあとにゆっくり温泉に浸かれる施設とか、子どもたちも一緒に楽しめるような野外の音楽フェスとか、そういうのがあるといいですね。

相馬さん: そういったものが栗原市にあれば、市内の人はもちろん、宮城の他の市、他県からも遊びに来る人が増えると思います。そういう観光スポットができれば、お店も増えて、地域がもっと栄えると思います。

5 最後に、移住を考えている人に一言お願いします

川名さん: 栗原市は子育てをしていくうえで支援制度が充実していますし、土地や住むところに関しても、都会に比べてずっと安いし、広いし、自由度もあります。だから、移住を考えているなら今がチャンスですよ。

笠原さん: 私は生まれてからずっとこの近辺に住んでいるので、あんまり都会で子育てをするイメージが湧かないんですけど、やっぱり栗原市は子育てするうえで環境がいいと思います。

相馬さん: 近所の人とか温かいですね。

狩野さん: 人口が増えると地域全体が潤っていくので、移住してきてくれる人が増えることを願っています。きっとこれからの世の中って、地域を盛り上げたりしていくことに関しては女性のほうが力を発揮できるような気がしています。

皆さんどうもありがとうございました！座談会の様子はビックリはら！サイトに動画で見ることができます。ぜひチェックしてみてくださいね！

調査結果	栗原市のママたちは制度や環境をうまく活かし、子育て、お仕事、趣味の時間とそれぞれ充実した毎日を送っていました。そして、地域全体がもっと盛り上がり、欲しいという熱い想いが伝わってきましたね。ママたちが集まればすごいことができるかも…!栗原市のこれからがとっても楽しみです!
------	---

ご参加いただいたママ達



千葉 一美さん (Vol.7登場)

相馬 桃子さん (Vol.1登場)

笠原 奈央さん (Vol.8登場)

狩野 有喜子さん (Vol.3登場)

川名 由紀さん (Vol.4登場)

鈴木 綾子さん (Vol.2登場)

体験移住プロジェクト「ゆるくておもしろい?移住」の拠点

通称 “ピンク基地”

座談会の会場でした!

こちらをゆる〜くチェックしてもらえると嬉しいです♪

#ゆるおも栗原 検索

